

# INSPIRED BY BAMBOO

井生文隆

制作活動

## research activities

新しい時代の社会は、「ヒト」と「モノ」と「環境」の関係について、「価値の向上と持続性」を追求し、調和・融合することが大事であると考えている。環境のための素材のデザインの可能性を探ることにより、様々な製品の展開を具現化し、地域の産業の活性化に繋がり、そして環境保全へと発展していくことを目的として、以下の研究活動を続けている。

### 1) タル・プロジェクト

ウイスキーの熟成に用いられる樽は、良質のホワイトオークで作られていて、約50年で樽材としての寿命を終える。この役割を終えた樽材を机上文具作品として再利用するプロジェクトである。「TARU」は、フィンランド語では、「伝説」という意味になる。

「TARU [Legend]」展：1999年1月、アヴァイン・ギャラリー、ヘルシンキ/フィンランド。

### 2) 葦の活用

環境保全に密接に関わりを持つ葦(ヨシ)を生活に有効に利用することで、水質浄化の役割が重要視される葦群落の保全につなげる具現化活動として、葦を素材としたデザインの提案により葦の可能性を表現する。

「葦のデザイン・フィンランド+日本」展：2000年12月、かわらミュージアム(滋賀県近江八幡市)を初めとして国内他3回。

「Reed Design-Finland&Japan」展：2001年1月、プロ・プーギャラリー、ラハティ/フィンランド。

### 3) 竹の活用

森林環境に影響を及ぼすことが懸念されている竹を活用するデザインの展開を図り、地域の産業創出・振興と環境保全をめざす。

「竹のデザイン・フィンランド+日本」展：2003年7月、萩CNWギャラリー、山口県萩市を初めとして、国内他3回。

「BambooDesign in Fiskars」展：2004年1月、クバリパヤ・ギャラリー、フィスカース/フィンランド。

「竹 meets フィンランド展」：2004年11月、萩市民ホール、山口県萩市。2004年12月、新宿パークタワー・アトリウム、東京都。

「INSPIRED BY BAMBOO」展：2005年8月、デザイン・フォーラム・フィンランド、ヘルシンキ/フィンランド。

## Inspired by bamboo

### Inspired by Bamboo - exhibition

会期 : 19. 8-11. 9. 2005

会場 : デザインフォーラム (Design Forum Finland) ヘルシンキ/フィンランド

主催 : 萩商工会議所(The HAGI Chamber of Commerce and Industry)、日本貿易振興機構(JETRO)

企画協力 : S 2 (S2 corporation)

特別協力 : デザインフォーラム (Design Forum Finland)

参加デザイナー :

#### BAMBOOM

Hannu Kähönen

#### BAMBOO HOUSE

Jussi Hyvärilä  
Krista Kosonen  
Naoto Niidome  
Mikko Paakkanen  
Mari Relander  
Anna Katriina Tilli

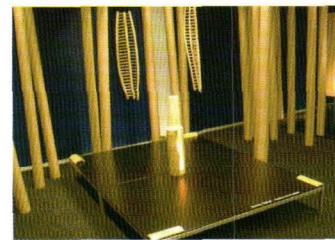
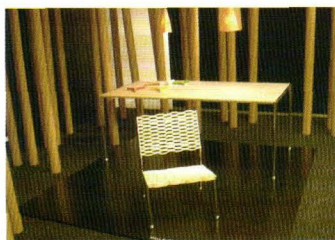
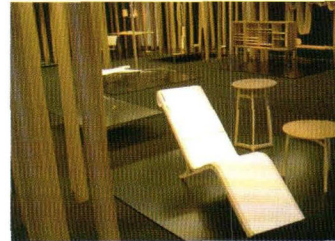
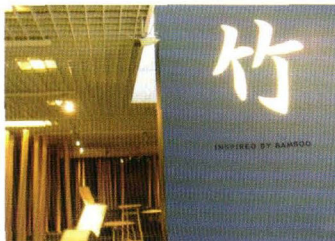
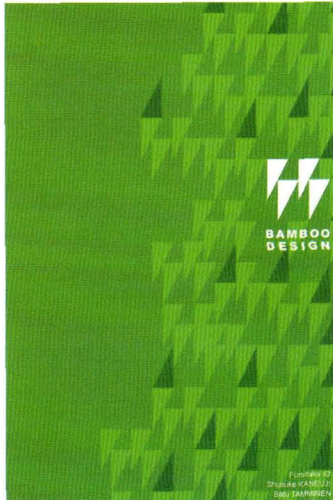
#### POSSIBILITIES OF BAMBOO

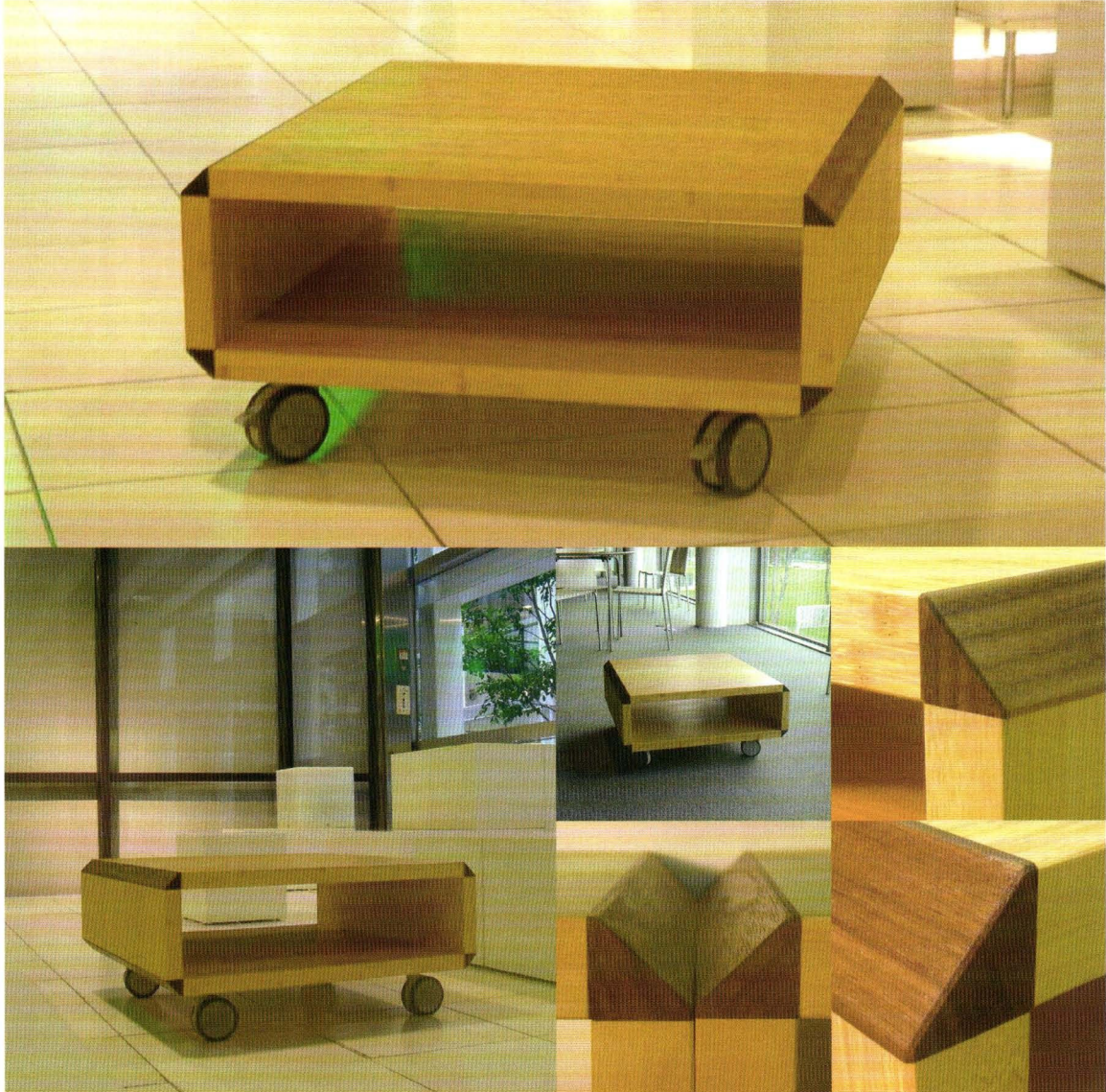
Marukku Kosonen  
Sonny Nakai  
Markku Tonttila

#### BAMBOO DESIGN

Fumitaka Ito  
Shusuke Kaneuji  
Satu Tamminen

## exhibition





竹合板の美しいテクスチャーと、接合部のウォルナット材の高級感とのコントラストによる構成のデザイン。  
シンプルな形状であるが、暖かみのある雰囲気醸し出す演出を追究し、具現化したファニチャー。

**"minun" PERSONAL TABLE** 600W×600D×300H  
接合部にキャラクターを持たせたパーソナルテーブル